



株式会社NEW ART

2018年3月期第2四半期

決算説明資料



証券コード:7638

2017年11月10日

Contents

1. 2018年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2018年3月期 通期連結業績予想
3. 2018年3月期 第2四半期 トピックス

1. 2018年3月期 第2四半期 決算概要

(1)決算ハイライト

1

2018年3月期第2四半期(累計) 連結業績

売上高 7,067百万円
営業利益 535百万円

2

通期連結業績予想に対し、
売上高は48.7%、営業利益は41.2%の進捗

3

2017年10月1日
持株会社体制への移行完了

4

仮想通貨関連事業への参入

(2)2018年3月期 第2四半期 決算概要(連結)

売上高	7,067百万円	(前年同期比 Δ 33百万円 Δ 0.5%)
営業利益	535百万円	(前年同期比 Δ 432百万円 Δ 44.7%)

売上高

主力のジュエリー事業が引き続き好調に推移したことに加え、その他事業の売上が1Qより新たに加わりましたが、アート事業の絵画取引が新規事業の立ち上げ準備のために抑制されたこと、またエステ事業の売上が減少したことにより、前年同期比33百万円減、0.5%減

営業利益

ジュエリー事業において海外初の大型店舗を新規オープンしたことにより費用が先行していること、エステ事業の売上減による利益減少などにより、前年同期比432百万円減、44.7%減

(3)2018年3月期 第2四半期 業績(連結)

[単位:百万円]

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減	増減率
売上高	7,100	7,067	△33	△0.5%
売上原価	3,113	2,804	△308	△9.9%
売上総利益	3,987	4,262	275	6.9%
販売管理費	3,018	3,726	708	23.5%
広告宣伝費	701	958	257	36.7%
給与手当	711	847	135	19.1%
営業利益	968	535	△432	△44.7%
経常利益	962	511	△451	△46.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	762	242	△519	△68.2
営業利益率	13.6%	7.6%		—

(4)セグメント別業績①

ジュエリー事業

- 国内は引き続き順調
 - ・国内の集客強化に努めたことで来店客数が増加
- 海外は今期は立ち上げフェーズであるため費用が先行
 - ・海外初となる台北本店を新規オープンし、積極的なプロモーション活動を推進

エステ事業

- 中長期的な売上拡大、利益率の改善を図るため今期は営業体制及び管理体制の構造改革を推進

アート事業

- 新規事業の立ち上げ準備により在庫商品の充実を図るため絵画取引を抑制

その他事業

- スポーツ関連事業は順調に推移
- ウェディング事業は赤字を計上

(4)セグメント別業績②

[単位:百万円]

		2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	増減	増減率
ジュエリー 事業	売上高	4,277	4,663	386	9.0%
	セグメント利益	788	565	△222	△28.2%
エステ 事業	売上高	1,783	1,562	△220	△12.4%
	セグメント利益	145	23	△122	△84.1%
アート 事業	売上高	1,040	619	△420	△40.4%
	セグメント利益	55	18	△36	△66.0%
その他 事業	売上高	—	222	—	—
	セグメント利益 (損失は△)	—	△32	—	—

※2017年3月期第1四半期のジュエリー事業、アート事業は、ジュエリー・アート事業における該当数値を記載

(5)貸借対照表(連結)の概要

[単位:百万円]

	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期	増減	変動要因
流動資産	9,313	9,912	598	<ul style="list-style-type: none"> ◆流動資産 <ul style="list-style-type: none"> ・現預金△1,035 ⇒設備投資・仕入・関連会社出資の強化のため ・商品及び製品+1,340 ・受取手形及び売掛金+169 ◆固定資産 <ul style="list-style-type: none"> 関係会社長期貸付金△502 ◆流動負債 <ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金+132 ・1年以内返済予定長期借入金+156 ◆固定負債 <ul style="list-style-type: none"> ・長期借入金+184 ◆純資産 <ul style="list-style-type: none"> ・自己株式△200
固定資産	3,991	3,770	△220	
資産合計	13,304	13,682	377	
流動負債	5,378	5,761	383	
固定負債	945	1,132	186	
負債合計	6,323	6,893	569	
純資産	6,981	6,788	△192	
負債及び純資産合計	13,304	13,682	377	

2. 2018年3月期 通期連結業績予想

(1)通期連結業績予想及びその進捗

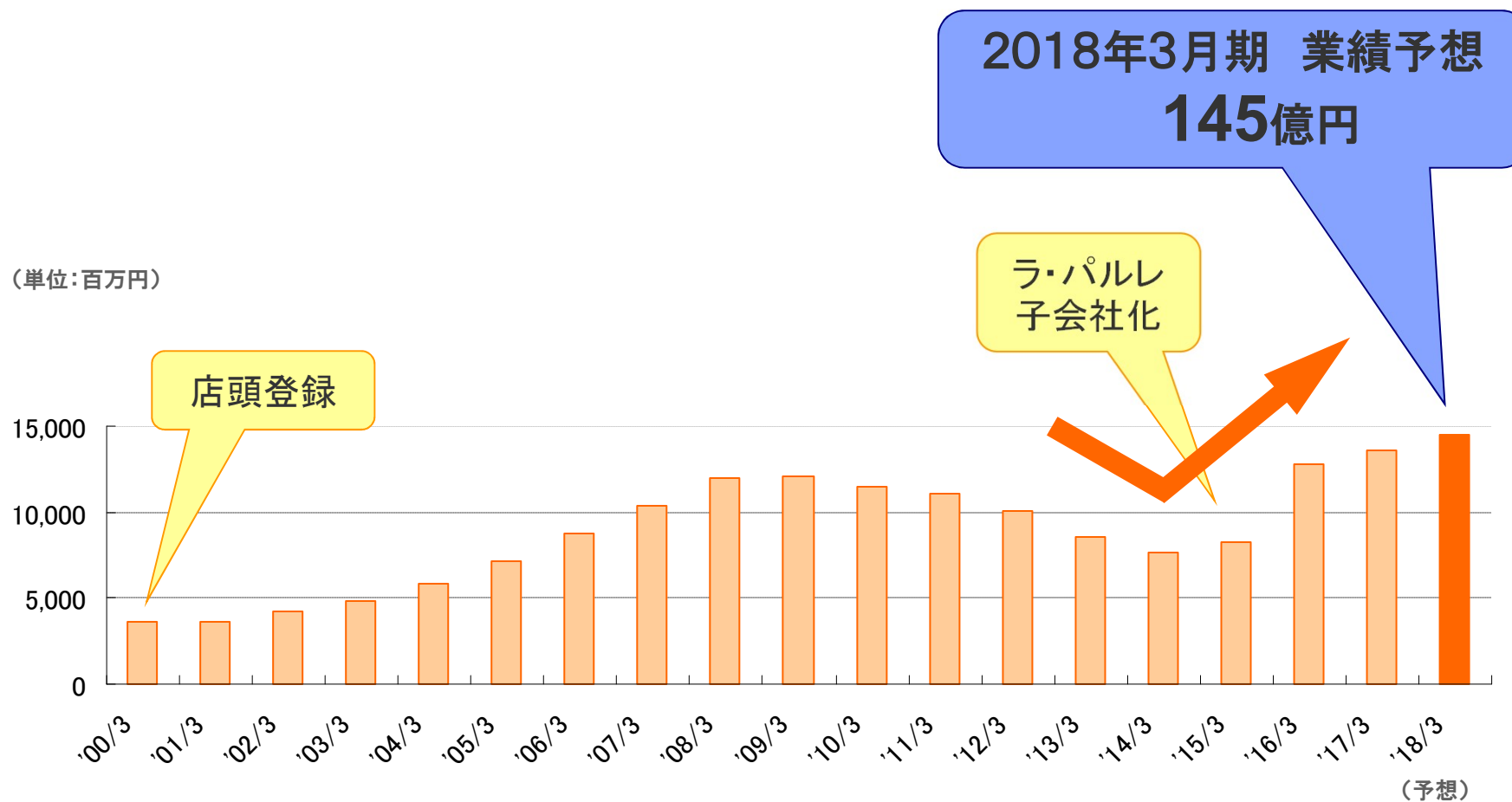
通期連結業績予想 に対し
売上高は48.7%、営業利益41.2%の進捗

〔単位:百万円〕

	2018年3月期		
	第2四半期累計 実績	通期連結 業績予想	進捗率
売上高	7,067	14,500	48.7%
営業利益	535	1,300	41.2%
経常利益	511	1,300	39.3%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	242	800	30.4%

(2)売上高(連結)の推移

2018年3月期連結売上高は3期連続過去最高更新へ



3. 2018年3月期 第2四半期 トピックス

(1)持株会社体制への移行①

＜持株会社体制への移行目的＞

更なる事業の成長・企業価値の最大化のため、責任体制の明確化、事業間シナジー効果の最大化、機動的な組織再編、戦略的な事業提携、コーポレートガバナンスの強化等、グループ各社が事業環境の変化に柔軟に対応できる体制の構築を目指すため

＜移行スケジュール＞

- 2017年3月31日 持株会社体制移行準備開始承認取締役会
- 2017年4月28日 分割準備会社設立承認取締役会
- 2017年5月29日 吸収分割契約承認取締役会
- 2017年5月29日 吸収分割契約締結
- 2017年6月29日 吸収分割契約承認定時株主総会
- 2017年10月1日 吸収分割の効力発生日(持株会社体制へ移行)

(1)持株会社体制への移行②



※(株)ニューアート・コインは、
2017年10月に(株)ニューアート・
ウェディングから社名変更しました

アート事業の新規事業(金融化)を準備中

(2)新規事業 ～フィンテック事業～

株式会社ニューアート・コインはマイニング事業などの仮想通貨関連事業に参入を決定

フィンテック分野の新規事業を立ち上げ、成長分野への事業領域の拡大を目指す



(3)国内新店舗オープン

2017年9月に、「銀座ダイヤモンドシライシ」および「エクセルコダイヤモンド」のブランド統合店舗を、新潟県中央区および長崎県長崎市にオープン

<新店舗情報>

銀座ダイヤモンドシライシ新潟本店
エクセルコダイヤモンド新潟店

(住所)新潟県中央区万代1-2-3
(オープン日)2017年9月7日

銀座ダイヤモンドシライシ長崎ハマクロス411店
エクセルコダイヤモンド長崎ハマクロス411店

(住所)長崎県長崎市浜町4-11ハマクロス2F
(オープン日)2017年9月15日



▲統合店舗（新潟）



▲統合店舗（長崎）

Appendices

新中期経営計画
『Success Road 2020』

1. 数値目標

2020年3月期 売上高155億円、営業利益22億円を目指す

<連結数値目標>

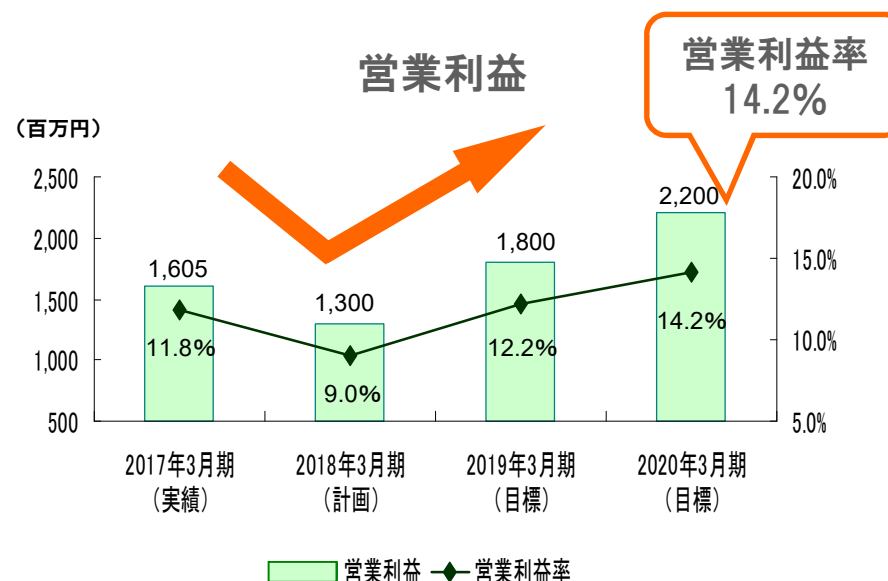
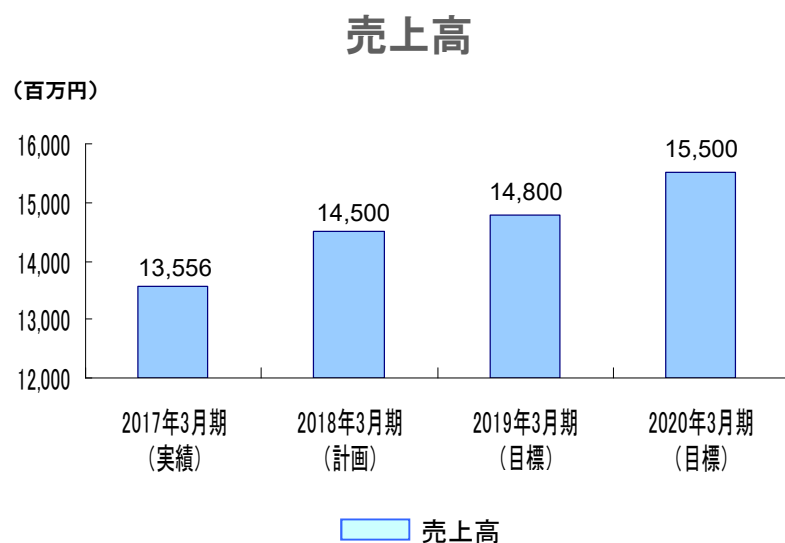
[単位:百万円]

	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (予想)	2019年3月期 (目標)	2020年3月期 (目標)
売上高	13,556	14,500	14,800	15,500
営業利益	1,605	1,300	1,800	2,200
経常利益	1,579	1,300	1,800	2,200
当期純利益	1,094	800	1,200	1,500

2. 概要

営業利益は2018年3月期をボトムにV字成長20億円突破を目指す

- 国内既存事業の更なる拡大
- 海外展開の推進
- 新規事業の育成
- 利益を生み出す筋肉質な組織構築を図る





IR情報に関するお問い合わせ
株式会社 NEW ART IR戦略部
Tel. 03-3567-8098 Fax. 03-3567-8092

(注)本資料における業績予想や将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報にもとづき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。したがって、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。